

# 2018 年度事業報告

## 特定非営利活動法人ふおーらいふ

### 総括

不登校状態にある児童・生徒が法人の教育理念「自主」「自立」「生活と命」に基づく活動へ主体的に参加することができた。また大阪コミュニティ財団、青少年本部、赤い羽根共同募金期間拡大、日本郵便株式会社年賀寄附配分などの助成を受け、地域でのイベントや交流を企画、スクールの児童・生徒たちが安全に各活動へ参画できるようサポートできたほか、それぞれの実践内容や結果について、冊子にまとめ、関係団体などへ発送・ノウハウを共有した。また、昨年度に引き続き、今期も職員の採用を行い、現場の人材確保に努めた。

### (1) 青少年が主体となって総合的に学び、育ちあうフリースクールの運営

#### 1. 自然体験・仕事体験の実施

神戸市教育委員会教育長の意見書により、日本郵便株式会社年賀寄付配分による助成を受け、田植え体験などの自然体験、垂水区民スポーツの日などの仕事体験、及び地域交流の各種活動を実施した。実践の様子や参加した子どもたちのナラティブ（語り）を冊子にまとめ、フリースクールを始めとする、多様な教育機会を確保する支援団体などへ発送した。また同冊子は、WEBへ公開するとともに、情報を必要とする保護者に配布し、一般者 500 円で頒布した。



#### 2. 社会貢献学習・地域交流の実施

社会貢献学習として、プルタブ de 車椅子寄贈プロジェクトおよびガチャガチャ de 社会貢献学習を実施した。なお、プルタブ de 車椅子寄贈プロジェクトについては、近隣の個人や団体に限らず、東北地方の個人や、関東圏の一般企業などからもプルタブが寄付されるようになり、範囲やセクターが広がってきている。



#### 3. その他の活動について

フリースクールの子どもの企画を中心に、20 周年の記念事業の一環として、文化祭「仲間展」を実施。レバンテ垂水の多目的室にて、卒業生と在校生の共同制作による映像の上映や、在校生による音楽演奏、企画・展示などを行った。



## (2) 学習およびコミュニケーションに関する支援事業

### 1. 義務教育後の若者支援

大阪コミュニティ財団の助成を受け、コミュニティ喫茶を実施し、実践内容について冊子にまとめた。なお、冊子については、若者支援団体などへ無料で発送し、WEBへ公開するとともに、一般にも、無料で頒布した。

### 2. 放課後クラブについて

毎週水曜 16 時から、年間でのべ 38 日、発達障害などの学びづらさがある小・中学生の学習支援を実施した。

夏休みに地域の子どもに向けて、「宿題やつつけ隊」と称し夏休みの工作や作文のサポートを行った。述べ 8 人参加。

## (3) 生涯学習に関する機会と場の提供

### 1. 公開講座の企画実施について

当法人のフリースクール開校 20 年記念事業の一環で、西野博之氏（精神保健福祉士・たまりば理事長）を講師に迎え、こどもの SOS と居場所のチカラをテーマとした講演会を開催し、のべ 68 名が参加した。

### 2. インターンシッププログラムについて

神戸学院大学の学生インターン 1 名を受け入れし、6 ヶ月かけ、のべ 48 時間にわたり多様な教育と NPO 実務等について研鑽する機会を提供した。また、兵庫県立大学看護学部の病院実習生 2 名を受け入れし、のべ 5 日間の実習機会を提供した。

## (4) 教育や不登校などの相談及び支援・情報の提供活動

### 1. 情報提供活動について

当法人多目的室（ルーム B）にて、毎月第 3 土曜日に一般公開の親の会を開催し、年間 11 回、のべ 98 名が参加した。また、隔月の奇数月第一土曜日に、こうべ LD の会と協働で、発達障害について考える親の会を開催し、年間 6 回、のべ 25 名が参加した。

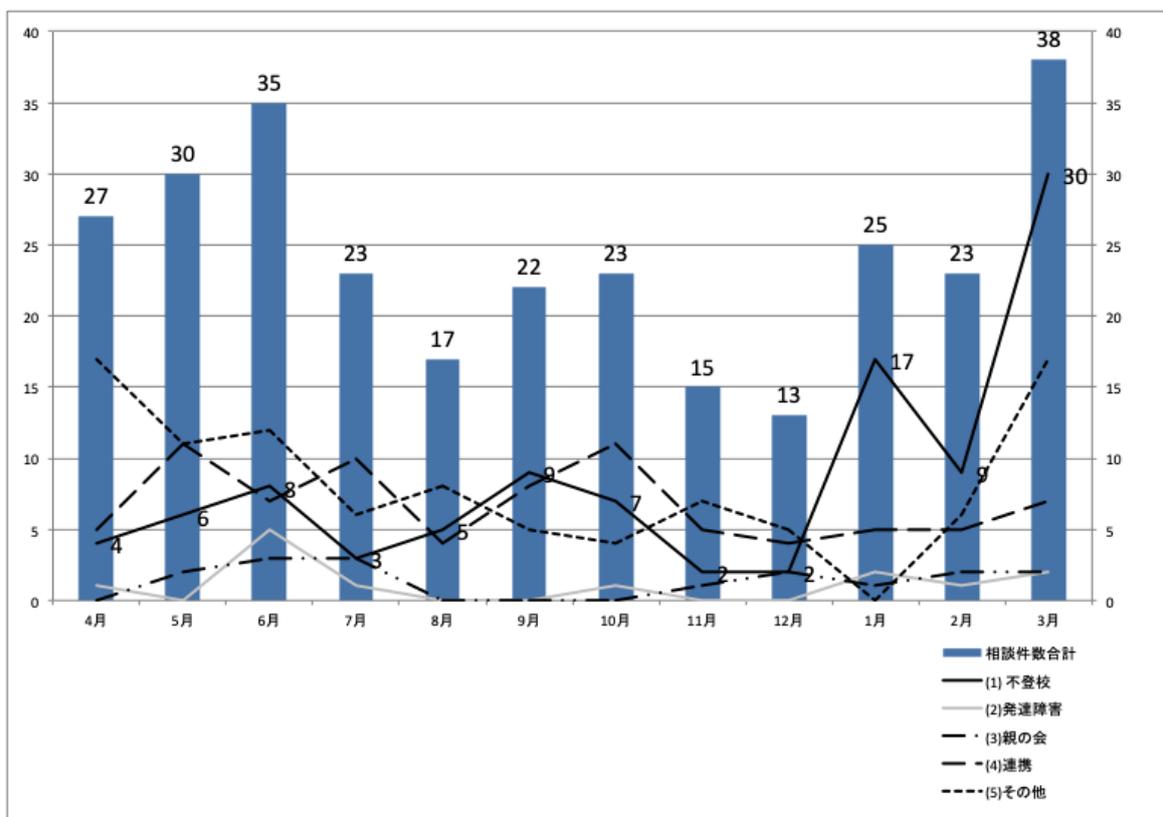
株式会社イオンリテール主催のイオン幸せの黄色いレシートキャンペーンや地元自治会主催の地域行事へ参加した。

団体機関紙「ゆう通信」を年 4 回発行し、会員、支援者、関係機関約 250 ヶ所へ発送した。

### 2. 情報提供のうち団体内部での取り組みについて

毎月第 3 土曜日に、職員・ボランティアなど団体関係者が情報共有できる定例会を開催し、各自が抱えるケースの共有や、不登校・普通教育機会確保法関連の研修等を受講した内容について、伝達講習を行い、各自の能力開発を推進した。この他、神戸市 NPO 等アドバイザー派遣事業による会議体を設け、組織改革に取り組んだ。

(図1) 2018年度の相談件数の推移



※ 相談件数は、電話、メールの合計

## (5) その他第3条の目的を達成するために必要な事業及び前号の事業に付帯する事業

### 1. 当法人の地域参画等について

フリースクール全国ネットワーク、ふりー！すくーりんぐなどが主催する会議体において、不登校支援団体との意見交換や各種提言、企画などに協力した。また「義務教育の段階における普通教育に相当する教育の機会の確保等に関する法」（教育確保法）の成立に伴い引き続き「兵庫県フリースクール連絡協議会」に主体的に参画し、各教育委員会（神戸市／明石市／尼崎市など）との連絡会に参加し、不登校の子どものために、より良い環境設定の要望を示した。その他、当法人の蓄積（教育・福祉・子ども・青少年）を活かし、神戸市垂水区社会福祉協議会と協働し、赤い羽根共同募金を財源とする公募型助成事業の仕組みづくりに従事した。また、NPO 法人しゃらくが受託する神戸市協働と参画のプラットフォームの運営のうち、持続可能な開発目標（SDGs）をテーマとした神戸ソーシャルセミナーの企画・開催に携わった。

## 2018年度 特定非営利活動に係る事業会計財産目録

2019年3月31日現在

特定非営利活動法人 ふおーらいふ

科 目 ・ 摘 要	金 額 (単位:円)	
I 資産の部		
1 流動資産		
現金・預金		
現金	0	
振替口座(通知預金)	3,093,184	
普通預金 みなと銀行垂水支店	423,994	
普通預金 みなと銀行垂水支店(助成金)	2,913,363	
普通貯金 郵便局(一般)	1,328,735	
普通貯金 郵便局(助成金1)	0	
普通貯金 郵便局(助成金2)	0	
普通貯金 郵便局(放課後クラブ)	927,475	
普通貯金 郵便局(子ども貯金)	228,679	
普通預金 三井住友銀行垂水支店	0	
		8,915,430
流動資産合計		8,915,430
2 固定資産		
(1)有形固定資産		
什器備品	318,938	
(2)その他固定資産		
敷 金	250,000	
固定資産合計		568,938
資 産 合 計		9,484,368
II 負債の部		
1 流動負債		
未払金	0	
預り金 社会保険、所得税分	140,269	
流動負債合計		140,269
2 固定負債		
長期借入金	0	
固定負債合計		0
負 債 合 計		140,269
正味財産合計		9,344,099

当法人の財産目録に相違ありません。

特定非営利活動法人 ふおーらいふ

理事長 中林 和子

## 2018年度 特定非営利活動に係る事業会計貸借対照表

2019年3月31日現在

特定非営利活動法人 ふぉーらいふ

科 目	金 額 (単位:円)	
I 資産の部		
1 流動資産		
現金・預金	3,093,184	
郵便局	2,484,889	
みなと銀行	423,994	
助成金口座	2,913,363	
三井住友	0	
流動資産合計		8,915,430
2 固定資産		
工具器具備品	318,938	
敷金	250,000	
固定資産合計		568,938
資産合計		9,484,368
II 負債の部		
1 流動負債		
未払金	0	
預り金 社会保険、所得税分	140,269	
流動負債合計		140,269
2 固定負債		
長期借入金	0	
固定負債合計		0
負債合計		140,269
III 正味財産の部		
前期繰越正味財産		8,194,481
当期正味財産増加額		1,149,618
正味財産合計		9,344,099
負債及び正味財産合計		9,484,368

2017年度 特定非営利活動に係る事業会計活動計算書

自 2018年4月1日 至 2019年3月31日

特定非営利活動法人 ふおーらいふ

(単位:円)

科目	金額	
I 経常収益		
1.受取会費		
NPO会員 年会費 5,000×20	100,000	
支援会員 年会費 3,000×39	117,000	
通信会員	0	217,000
2.受取寄付金		
一般	337,808	
20周年事業	72,262	
書籍出版	0	410,070
3.受取助成金等		
神戸市青少年の居場所づくり事業	77,039	
兵庫県青少年本部助成事業	80,000	
垂水区社会福祉協議会協働コーディネート事業	565,730	
協働と参画のプラットフォームコーディネート事業	611,956	
赤い羽根共同募金(親の会)	10,000	
赤い羽根共同募金 期間拡大)	150,000	
大阪コミュニティ財団事業	150,000	
日本郵便株式会社 年賀寄附配分助成事業	1,600,000	3,244,725
4.受取補助金等		
善意銀行	50,000	50,000
5.事業収益		
フリースクール事業	5,123,922	
学習・コミュニケーション事業	1,188,473	
講座事業	39,000	
親の会・通信事業	13,800	
連携事業	0	6,365,195
6.その他収益		
雑収入	0	
受取利息	48	48
経常収益計		10,287,038
II 経常費用		
1.事業費		
(1)人件費		
給料手当	2,754,000	
法定福利費	369,421	
通勤交通費	188,736	
人件費計	3,312,157	
(2)その他経費		
謝金	979,780	
子ども活動費	209,904	
子ども活動交通費	17,470	
消耗品費	74,246	
消耗備品費	288,545	
交通費	346,763	
通信費	282,751	
印刷費	691,007	
会議費	2,148	
賃借料	46,588	
新聞図書費	12,324	
水道光熱費	96,834	
交際費	5,452	
地代家賃	1,008,000	
保険料	20,750	
研修費	70,500	
雑費	0	
支払手数料	28,611	
租税公課	6,800	
修繕費	0	
諸会費	34,200	
広告宣伝費	0	
車両費	238,494	
リース料	0	
減価償却費	97,200	
その他経費計	4,558,367	
事業費計		7,870,524

2.管理費			
(1)人件費			
給料手当	688,500		
法定福利費	92,355		
通勤交通費	47,184		
人件費計	828,039		
(2)その他経費			
謝金	0		
子ども活動費	0		
子ども活動交通費	0		
消耗品費	3,772		
消耗備品費	4,159		
交通費	93,273		
通信費	1,108		
印刷費	625		
会議費	2,160		
賃借料	0		
新聞図書費	500		
水道光熱費	24,208		
交際費	0		
地代家賃	252,000		
保険料	0		
研修費	33,000		
雑費	0		
支払手数料	0		
租税公課	0		
修繕費	0		
諸会費	0		
広告宣伝費	0		
車両費	0		
リース料	0		
減価償却費	24,300		
その他経費計	439,105		
管理費計		1,267,144	
経常費用計			9,137,668
当期経常増減額			1,149,370
Ⅲ経常外収益			
1.過年度損益修正益	0		
経常外収益計			0
Ⅳ経常外費用			
1.過年度損益修正損	0		
2.雑損失	△ 248		
経常外費用計		△ 248	△ 248
税引前当期正味財産増減額			1,149,618
当期正味財産増減額			1,149,618
前期繰越正味財産額			8,194,481
次期繰越正味財産額			9,344,099

2018年度 計算書類の注記

特定非営利活動法人ふーらいふ

1. 重要な会計方針
- 計算書類の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日 2011年11月20日一部改正NPO法人会計基準協議会)によっています。
  - (1) 固定資産の減価償却の方法  
有形固定資産は、什器備品については定額法で償却をしています。
  - (2) 事業費と管理費の按分方法  
事業及び管理業務の実際の占有時間をもとに、対象となる経費については原則8割で案分しています。
  - (3) 消費税等の会計処理  
消費税等の会計処理は、税込経理方式によっています。

2. 事業別損益の状況

(単位:円)

科目	フリースクール事業	学習・コミュニケーション事業	講座事業	親の会・通信事業	連携事業	事業部門計	管理部門	合計
I 経常収益								
1. 受取会費								
NPO会員	0	0	0	0	0	0	100,000	100,000
支援会員	0	0	0	0	0	0	117,000	117,000
通信会員	0	0	0	0	0	0	0	0
2. 受取寄附金								
一般	337,808	0	0	0	0	337,808	0	337,808
20周年寄付	72,262	0	0	0	0	72,262	0	72,262
書籍	0	0	0	0	0	0	0	0
3. 受取助成金等								
神戸市青少年の居場所づくり事業	0	0	0	0	77,039	77,039	0	77,039
兵庫県青少年本部助成事業	80,000	0	0	0	0	80,000	0	80,000
垂水区社会福祉協議会協働コーディネート事業	0	0	0	0	565,730	565,730	0	565,730
神戸市協働と参画のプラットフォームコーディネート事業	0	0	0	0	611,956	611,956	0	611,956
赤い羽根共同募金(親の会)	0	0	0	10,000	0	10,000	0	10,000
赤い羽根共同募金(期間拡大)	0	0	0	0	150,000	150,000	0	150,000
大阪コミュニティ財団助成事業	0	150,000	0	0	0	150,000	0	150,000
日本郵便株式会社 年賀寄附配分助成	1,600,000	0	0	0	0	1,600,000	0	1,600,000
4. 受取補助金								
	0	50,000	0	0	0	50,000	0	50,000
5. 事業収益	5,123,922	1,188,473	39,000	13,800	0	6,365,195	0	6,365,195
6. その他収益	0	0	0	0	0	0	48	48
経常収益計	7,213,992	1,388,473	39,000	23,800	1,404,725	10,069,990	217,048	10,287,038
II 経常費用								
(1) 人件費								
給料手当	1,790,100	963,900	0	0	0	2,754,000	688,500	3,442,500
法定福利費	240,124	129,237	0	0	0	369,421	92,355	461,776
通勤交通費	122,678	68,058	0	0	0	188,736	47,184	235,920
人件費計	2,152,902	1,159,255	0	0	0	3,312,157	828,039	4,140,196
(2) その他経費								
謝金	0	949,780	0	30,000	0	979,780	0	979,780
子ども活動費	136,438	73,466	0	0	0	209,904	0	209,904
子ども活動交通費	11,356	6,115	0	0	0	17,470	0	17,470
消耗品費	46,316	25,988	0	1,944	0	74,246	3,772	78,018
消耗品費	187,554	100,991	0	0	0	288,545	4,159	292,704
交通費	225,396	121,367	0	0	0	346,763	93,273	440,036
通信費	183,788	98,963	0	0	0	282,751	1,108	283,859
印刷費	449,155	241,852	0	0	0	691,007	625	691,632
会議費	1,396	752	0	0	0	2,148	2,160	4,308
賃借料	30,282	16,306	0	0	0	46,588	0	46,588
新聞図書費	8,011	4,313	0	0	0	12,324	500	12,824
水道光熱費	62,942	33,892	0	0	0	96,834	24,208	121,042
①ガス	9,840	5,299	0	0	0	15,139	0	15,139
②電気	56,329	30,331	0	0	0	86,660	0	86,660
③水道	11,369	6,122	0	0	0	17,490	0	17,490
④灯油	6,663	3,588	0	0	0	10,250	0	10,250
交際費	2,572	1,908	0	972	0	5,452	0	5,452
地代家賃	645,200	352,800	0	10,000	0	1,008,000	252,000	1,260,000
保険料	13,488	7,263	0	0	0	20,750	0	20,750
研修費	45,825	24,675	0	0	0	70,500	33,000	103,500
雑費	0	0	0	0	0	0	0	0
支払手数料	18,597	10,014	0	0	0	28,611	0	28,611
租税公課	4,420	2,380	0	0	0	6,800	0	6,800
修繕費	0	0	0	0	0	0	0	0
諸会費	16,230	11,970	0	6,000	0	34,200	0	34,200
広告宣伝費	0	0	0	0	0	0	0	0
車両費	155,021	83,473	0	0	0	238,494	0	238,494
リース料	0	0	0	0	0	0	0	0
減価償却費	63,180	34,020	0	0	0	97,200	24,300	121,500
その他経費計	2,307,166	2,202,285	0	48,916	0	4,558,367	439,105	4,997,472
経常費用計	4,460,068	3,361,540	0	48,916	0	7,870,524	1,267,144	9,137,668
当期経常増減額	2,753,924	△ 1,973,067	39,000	△ 25,116	1,404,725	2,199,466	△ 1,050,096	1,149,370
III 経常外収益								
1. 過年度損益修正益	0	0	0	0	0	0	0	0
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0
IV 経常外費用								
1. 過年度損益修正損	0	0	0	0	0	0	0	0
2. 経損失	△ 248	0	0	0	0	△ 248	0	△ 248
経常外費用計	△ 248	0	0	0	0	△ 248	0	△ 248
当期正味財産合計額	2,754,172	△ 1,973,067	39,000	△ 25,116	1,404,725	2,199,714	△ 1,050,096	1,149,618

3. 固定資産の増減内訳

科目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
什器備品	486,000	0	0	486,000	167,062	318,938
敷金	250,000	0	0	250,000	0	250,000
合計	736,000	0	0	736,000	167,062	568,938

4. 使途等が制約された助成金及び寄付金等の内訳  
使途等が制約された助成金及び寄付金等の内訳は下表のとおりです。

内容	期首取得価額	取得	減少	期末残高	備考
神戸市青少年の居場所づくり事業	0	77039	77039	0	神戸市助成金／青少年の居場所づくり事業に充当
青少年本部助成事業	0	80000	80000	0	青少年本部助成金／子どもの自然体験活動の運営費に充当
赤い羽根共同募金(親の会)	0	10000	10000	0	赤い羽根共同募金／お母さんのための思春期講座の運営に充当
赤い羽根共同募金(期間拡大)	0	150000	150000	0	赤い羽根共同募金／地域に無料公開するプログラミング教室の運営に充当
大阪コミュニティ財団助成事業	0	150000	150000	0	大阪コミュニティ財団／義務教育後の若者支援の事業に充当
日本郵便株式会社 年賀寄附配分助成事業	0	1600000	1600000	0	
香恵銀行	0	50000	50000	0	垂水区社会福祉協議会助成金／発達障害の子どもの学習支援事業に充当
20周年記念事業寄付	119500	72262	0	191762	団体設立20周年記念事業に充当
書籍出版	0	0	0	0	出版事業に充当

2019年 5月 22日

## 監査報告書

特定非営利活動法人 ふおーらいふ

理事長 中林和子殿

特定非営利活動法人 ふおーらいふ

監事

近藤 寿夫 

私は、特定非営利活動促進法第18条に基づき、2018年度（2018年4月1日から2019年3月31日まで）の特定非営利活動法人ふおーらいふの会務及び財産の状況について監査を実施いたしました。

監査の結果、法人の業務の執行に関しては法令および定款に違反する事実はなく、2018年度の特定非営利活動法人ふおーらいふの財産目録及び貸借対照表及び活動計算書は適正なものと認めます。



### ■事業の方針

当法人定款第 5 条に定める 5 つの事業を実施するとともに、(1)～(3)ならびに(5)の事業については、下記に記載する拡充事業に注力することで、不登校状態にある児童生徒の自主・自立の支援ならびに、発達障害の子ども支援および、かれらの保護者支援を包摂的に行う。

注力する新規または拡充事業は、次の通り。

- (1) **拡充** フリースクール（小・中等部）、ならびに、高校ステーション（高等部）の活動を充実させるため、職員を新たに 1 名募集する。
- (2) **拡充** 義務教育後の若者支援事業を継続し、地域住民・地域社会向けのコミュニティ喫茶や公開講座に取り組む。本事業については、寄付等で賄う。
- (3) **拡充** フリースクール設立 20 周年記念事業として、フリースクール ForLife の実践を中心とした内容をまとめ、書籍として刊行し、出版披露の会を開催する。本事業については、20 周年記念寄付の財源を充当する。
- (5) **拡充** 神戸市が、NPO 法人しゃらくに委託し、多様なセクターが共創する場としてサンパル（三宮）の 2 階に設置している、協働と参画のプラットフォームで開催される、神戸ソーシャルセミナーにおいて、当法人の職員を出向させ、持続可能な開発目標（SDGs）をテーマとした、企画のコーディネート業務を行う。尚、本事業は、昨年度に引き続き、法人で委託契約する。

### (1) 青少年が主体となって総合的に学び、育ちあうフリースクールの運営

不登校状態の小・中・高校生(20 歳以下の子どもを含む)に対し、以下の形で体験型学習の機会を提供し、利用者の自己肯定感を高めるための支援を行う。

- ・小・中学生に対し、週 2 日教科プリント学習、読書、WEB ツール等を使用して基礎学習の支援を行うとともに、個に応じた学びのサポートをする。
- ・三田市里山工房をはじめとする地域資源を活用し、利用者が身体及び五感を使うことのできる体験活動を提供する。また、基礎学習を週単位で、総合学習等（運動・音楽・芸術・調理ほか）の活動を月単位で企画・実施する。この他、地域住民や団体等と協働し、利用者が地域で職業体験や社会貢献活動などができる機会を設ける。尚、これらの一部企画については、有識者で構成する運営委員会にて、より効果的な活動を企画し、実施過程について評価・検証する。
- ・関西圏の各種民間スクールと合同でスポーツ等の交流をする。
- ・スクールの年中行事として、野外活動、旅行行事、文化祭を行う。内容については利用者が主体となって企画・実施できるようにする。

## (2) 青少年等への学習およびコミュニケーション支援

不登校の児童・生徒の基礎学習支援として以下の取り組みを行う。

- ・毎週月・木曜日の午後に、利用者の所属する通信制高校（兵庫県立青雲高校、代々木高校、相生学院高校）のレポート学習支援を行う。
- ・義務教育後の若者（通信制高校所属者ほか）が運営するコミュニティ喫茶を実施し、地域住民と義務教育後の若者の交流を促進し、若者の地域参画を支援する。

小学生（発達障害の子どもを含む）の支援として以下の取り組みを行う。その際、発達障害の子どもの学習支援については垂水区社会福祉協議会との協働で事業を実施する。

- ・毎週火・木曜日の夕方に、『放課後クラブ』というプログラム名で、利用者の子どもが学校の課題や自主的に設定した基礎学習を学ぶことができる学習スペースを継続して開設する。

## (3) 青少年およびその周辺の人々に対する生涯学習の機会と場の提供

不登校や発達障害をはじめ、青少年教育の諸問題について、以下の取り組みを行う。

- ・関西の民間スクールが合同で実施する勉強会、ワークグループ、運営会議等に参画し、教育に関する諸問題を学ぶ場を年に数回設ける。
- ・スクール卒業生等が主体となって参加できる企画(模擬店や彼らの専門性を活かしたプログラム、フリースクール設立 20 周年記念事業など)を設け、企画の運営を通じて彼らのフォローアップを行う。

## (4) 教育や不登校、子育ての悩みなどについての相談および支援・情報提供活動

不登校等教育に関する相談及び支援を行うため、以下の取り組みを行う。

- ・毎月第 3 土曜日に、親の会たんぽぽと協働し、不登校親の会を開催する。また、隔月第 1 土曜日に、こうべ LD の会と協働し、発達障害親の会を開催する。
- ・平日に、電話・メールによる相談支援を行う。また希望者には対面での相談支援や情報提供を行う。
- ・フリースクール全国ネットワーク、ふりー！すくーりんぐ、兵庫教育大学ボランティア支援室等と連携し、団体情報を発信し、不登校や教育に関する情報交換に取り組む。
- ・年 3 回程度、不登校や発達障害に関する講演会もしくは研修会を企画実施する。
- ・年 4 回、団体機関紙『ゆう通信』を発行し、NPO 会員、支援会員、その他関係各所へ送付し、情報提供を行う。
- ・現在管理運営中のWEB サイト(団体公式サイト、ブログ、SNS、YouTube 他)を通じて、情報の発信を行う。
- ・大学生を対象としたインターンシッププログラムを用意し、近隣大学などの依頼があれば、内容を検討し、可能な限り随時受け入れを行う。
- ・地域のボランティア（主に学習支援）を募集し、子どもに適切な文化教養を提供することができるような環境設定と、こどもへの理解を養うプログラムを行う。

## (5) その他の事業

法人の定款第 3 条の達成に必要な事業および(1)～(4)に附帯する事業として以下の事に取り組む。

- ・教育行政との連携会議などに積極的に参加し、「義務教育の段階における普通教育に相当する教育の機会の確保等に関する法」についての学習を通して、子ども・家庭への支援配慮を行う。
- ・関係団体と連携し、スクール利用者の権利(小・中学生の出席認定、高校生を含む通学定期券の発行)を認めてもらえるよう、行政窓口等へ働きかける。
- ・組織内に適宜ワーキンググループ(プロジェクト会議)を設置し、青少年や発達障害の子ども支援やNPOの運営改善に関わる助成金の申請書を作成し、に申請する。
- ・団体職員、非常勤職員(ボランティア含む)の資質向上のため、内閣府やNPO法人フリースクール全国ネットワーク、日本LD学会等が主催する研修会等に参加する。
- ・兵庫県立青雲高等学校評議員に参加し、通信制課程で学ぶ高校生の支援を行う。
- ・兵庫県垂水警察署警察協議会に参加し、地域の防犯、青少年の安全・安全に貢献する。
- ・フリースクール全国ネットワークの企画や情報交換の場に参画し、全国的な不登校問題の環境改善に貢献するほか、登校拒否・不登校を考える全国ネットワークとの連携により全国的な親の会の情報や課題等を共有する。
- ・大学の授業や各種団体が企画する講座、垂水区区民まちづくり会議、垂水区社会福祉協議会協働コーディネート事業、NPO協働事業へ職員を派遣し、法人が蓄積してきたノウハウを地域社会へ還元するとともに、他団体と協働し、2030SDGsを活用した、持続可能な開発目標を学び体験する講座などを実施する。
- ・フリースクール設立20周年記念事業として、書籍出版および祝賀会を企画・実施する。
- ・神戸ソーシャルブリッジのNPO支援のプログラムに登録し、第三者の視点を活用して、団体の広報活動を抜本的に見直しする。
- ・当法人の運営にかかわる機能を見直し、主に運営に資する理事会の開催の頻度を上げる。

## 2019年度 活動予算(案)

科目・摘要		金額		
<b>I 経常収益</b>				
1	会費収入			
	NPO会員 年会費	5000×20	100,000	
	支援会員年会費	3000×60	180,000	280,000
2	受取寄付金			
	一般		50,000	
	20周年事業		200,000	
	書籍出版		400,000	650,000
3	受取助成金等			
	神戸市青少年の居場所づくり助成		90,000	
	兵庫県青少年本部助成事業		100,000	
	垂水区社会福祉協議会協働コーディネート事業		617,158	
	協働と参画のプラットフォームコーディネート事業		700,000	
	赤い羽根共同募金(親の会)		10,000	
			0	
			0	
			0	1,517,158
4	受取補助金			
	善意銀行		50,000	50,000
5	事業収入			
	フリースクール事業		7,632,000	
	学習・コミュニケーション事業		2,220,000	
	講座事業		20,000	
	親の会・通信		20,000	
	連携事業		20,000	9,912,000
6	その他の収入			
	受取利息		200	
	雑収入			200
	経常収益計			12,409,358
<b>II 経常費用</b>				
1	事業費			
	▼(1) 人件費			
	給与手当		4,500,000	
	法定福利費		555,000	
	通勤交通費		360,000	
	人件費計		5,415,000	
	▼(2) その他経費			
	謝金		900,000	
	子ども活動費		250,000	
	子ども活動交通費		50,000	
	消耗品費		120,000	
	消耗備品費		90,000	
	交通費		200,000	
	通信費		180,000	
	印刷費		610,000	
	会議費		10,000	
	賃借料		30,000	
	新聞図書費		10,000	
	水道光熱費		100,000	
	交際費		5,000	
	地代家賃		1,008,000	
	保険料		10,000	
	研修費		200,000	
	雑費		1,000	
	支払手数料		10,000	
	租税公課		1,000	
	修繕費		0	
	諸会費		50,000	
	広告宣伝費		10,000	
	車両費		200,000	
	リース料		25,000	
	減価償却費		97,200	
	その他経費計		4,167,200	
	事業費計			9,582,200

2 管理費			
(1) 人件費			
給料手当	1,200,000		
法定福利費	150,000		
通勤交通費	90,000		
人件費計	1,440,000		
(2) その他経費			
謝金	0		
子ども活動費	0		
子ども活動交通費	0		
消耗品費	30,000		
消耗備品費	25,000		
交通費	40,000		
通信費	30,000		
印刷費	27,000		
会議費	3,000		
賃借料	5,000		
新聞図書費	5,000		
水道光熱費	25,000		
交際費	10,000		
地代家賃	252,000		
保険料	0		
研修費	100,000		
雑費	0		
支払手数料	5,000		
租税公課	1,000		
修繕費	0		
諸会費	0		
広告宣伝費	0		
車両費	0		
リース料	0		
減価償却費	24,300		
その他経費計	582,300		
管理費計		2,022,300	
経常費用計			11,604,500
当期経常増減額			804,858
Ⅲ 経常外収益			
1 過年度損益修正益	0		
経常外収益計		0	0
Ⅳ 経常外費用			
1 過年度損益修正損	0		
2 雑損失	0		
経常外費用計		0	0
税引前当期正味財産増加額			804,858
当期正味財産増加額			804,858
前期繰越正味財産額			9,344,099
次期繰越正味財産額			10,148,957

## 【第3号議案】

### 任期満了に伴う役員を選任に関する事項

2019年6月22日をもって役員の任期が満了となるため、以後の役員体制案を以下の通り提案する。なお、役員の任期は定款の規定通り2年間（2019年6月22日～2021年6月21日）となる。

役職	氏名	所属	新旧
理事	河合将生	NPO組織基盤強化コンサルタントoffice musubime	再任
理事	近藤妙子	家庭塾	再任
理事	高宮静男	たかみや心のクリニック	再任
理事	田中まち子	NPO 法人ふおーらいふ	再任
理事	津谷治英	神戸新聞社	再任
理事	中林和子	NPO 法人ふおーらいふ	再任
理事	羽下大信	京都橘大学 兵庫県臨床心理士会	再任
理事	矢野良晃	NPO 法人ふおーらいふ	再任
監事	近藤寿夫	コンサルタント業	再任



令和 元年 6月1日

---

特定非営利活動法人ふおーらいふ

〒655-0022 兵庫県神戸市垂水区瑞穂通7-2

TEL 078-706-6186 FAX共通

メール [forlife@hi-net.zaq.ne.jp](mailto:forlife@hi-net.zaq.ne.jp)

ホームページ <http://www3.to/forlife>

YouTube <https://www.youtube.com/user/FreeSchoolForLife>